

年間指導計画

モデルプラン 1年

期		配当時数 (例)	題材	教材	題材で取り扱う 主な〔共通事項〕	取り扱う指導事項		題材の目標
1学期	前期	2	思いを込めて楽しく歌おう	「光の道」	強弱、テクスチュア	表現・歌唱	イ (ア)、ウ (ア) ア	【知】「光の道」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思】「光の道」の強弱、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 【態】「光の道」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。
		3	曲の特徴を生かして歌おう	「サウンド・オブ・ミュージック」から 「DO-RE-MI」 「エーデルワイス」	リズム、速度、旋律、 テクスチュア	表現・歌唱	イ (ア)、ウ (イ) ア	【知】「DO-RE-MI」 「エーデルワイス」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 【思】「DO-RE-MI」 「エーデルワイス」のリズム、速度、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 【態】「DO-RE-MI」 「エーデルワイス」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。
		2	曲の形式を捉えながら鑑賞しよう	「春」 第1楽章	音色、旋律、 強弱、形式	鑑賞	イ (ア) (イ) ア (ア)	【知】「春」の曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。 【思】「春」の音色、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「春」のよさや美しさを味わって聴く。 【態】「春」の曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、独奏ヴァイオリンと弦楽合奏の音色や響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。
		3	言葉の特徴を捉えて旋律をつくろう	「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」	リズム、旋律、構成	表現・創作	イ (ア)、ウ ア	【知】音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 【思】リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。 【態】音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組む。
		3	タンギングや左手の運指を身に付けよう	▶リコーダー 「リズム de ゴー」 「しりとりに歌」 「チャイニーズ・ダンス」 「喜びの歌」 「家路」	音色、リズム、速度、 旋律、テクスチュア	表現・器楽	イ (イ)、ウ (ア) ア	【知】リコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要なタンギングや左手の運指、息の出し方などの技能を身に付ける。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。 【態】リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。
	2学期	3	曲の形式を生かして歌おう	「夏の思い出」 「赤とんぼ」	リズム、旋律、 強弱、形式	表現・歌唱	イ (ア)、ウ (ア) ア	【知】「夏の思い出」 「赤とんぼ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思】「夏の思い出」 「赤とんぼ」のリズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 【態】「夏の思い出」 「赤とんぼ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。
		2	曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう	「魔王」	音色、旋律、 テクスチュア	鑑賞	イ (ア) ア (ア)	【知】「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 【思】「魔王」の音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「魔王」のよさや美しさを味わって聴く。 【態】「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりや独唱の表現の豊かさに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。
		3	言葉の特徴を捉えて音楽を構成しよう	「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」	音色、テクスチュア、 強弱、構成	表現・創作	イ (イ)、ウ ア	【知】音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 【思】音色、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。 【態】音楽材の特徴を生かして構成を工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組む。
		3	右手の運指や低い音を表現する奏法を身に付けよう	▶リコーダー 「うみ」 「アメーzing・グレイス」 「凱旋の行進曲」 「ソナタ K.331」	音色、リズム、速度、 旋律、テクスチュア	表現・器楽	イ (イ)、ウ (イ) ア	【知】アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。 【態】アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。
		3	曲想の変化を生かして歌おう	「夢の翼」 「あの丘の向こうから」	速度、旋律、強弱、 テクスチュア	表現・歌唱	イ (ア)、ウ (ア) (イ) ア	【知】「夢の翼」 「あの丘の向こうから」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 【思】「夢の翼」 「あの丘の向こうから」の速度、旋律、強弱、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 【態】「夢の翼」 「あの丘の向こうから」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。
2学期	前期	2	箏曲の多様な表現を鑑賞しよう	箏曲「六段の調」	音色、速度、 旋律、形式	鑑賞	イ (ア) (イ) ア (ア)	【知】「六段の調」の曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。 【思】「六段の調」の音色、速度、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「六段の調」のよさや美しさを味わって聴く。 【態】「六段の調」の曲想と音楽の構造との関わりや箏曲の特徴とその背景となる我が国の文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。
		2	箏の基本的な奏法を身に付けよう	▶箏 「練習曲 1、2」 「さくらさくら」	音色、リズム、旋律	表現・器楽	イ (イ)、ウ (ア) ア	【知】箏の音色と奏法との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付ける。 【思】音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。 【態】箏の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。
		1	尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう	尺八曲「鹿の遠音」	音色、旋律、速度、 テクスチュア、構成	鑑賞	イ (イ) ア (ウ)	【知】「鹿の遠音」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。 【思】「鹿の遠音」の音色、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の固有性について自分なりに考え、「鹿の遠音」のよさや美しさを味わって聴く。 【態】「鹿の遠音」の音楽の特徴とその背景となる我が国の文化や歴史、尺八について関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。
		4	パートの役割を生かして合わせて歌おう	「明日を信じて」 「飛び立とう君の空へ」	旋律、強弱、 テクスチュア、構成	表現・歌唱	イ (ア)、ウ (イ) ア	【知】「明日を信じて」 「飛び立とう君の空へ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 【思】「明日を信じて」 「飛び立とう君の空へ」の旋律、強弱、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 【態】「明日を信じて」 「飛び立とう君の空へ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。
		2	郷土のさまざまな民謡を味わいながら鑑賞しよう	「郷土のさまざまな民謡」	音色、リズム、旋律	鑑賞	イ (イ) (ウ) ア (イ) (ウ)	【知】郷土のさまざまな民謡の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 【思】郷土のさまざまな民謡の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴く。 【態】郷土のさまざまな民謡の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。
	後期	3	民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう	「ソーラン節」 「かりぼし切り歌」	音色、リズム、旋律、 テクスチュア	表現・歌唱	イ (イ)、ウ (ア) ア	【知】「ソーラン節」 「かりぼし切り歌」の声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思】「ソーラン節」 「かりぼし切り歌」の音色、リズム、旋律、テクスチュア (音頭一同形式など) を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 【態】「ソーラン節」 「かりぼし切り歌」が生まれた背景や、声の音色、節回し、コブシ、囃子詞などの特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。
		2	篠笛の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	▶篠笛 「たこたごあがれ」 「ひらいたひらいた」 「さくらさくら」	音色、旋律	表現・器楽	イ (イ)、ウ (ア) ア	【知】篠笛の音色と奏法との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要なかまえ方や音の出し方、運指などの技能を身に付ける。 【思】音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。 【態】篠笛の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。
		2	わが国やアジア地域の、多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう	「日本とアジアの声によるさまざまな表現」	音色、旋律、 テクスチュア	鑑賞	イ (ウ) ア (イ) (ウ)	【知】日本とアジアの声によるさまざまな表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 【思】日本とアジアの声によるさまざまな表現の音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴く。 【態】日本とアジアの声によるさまざまな表現の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。

評価計画 モデルプラン 1年

期		題材	教材	題材の評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	前期	思いを込めて楽しく歌おう	「光の道」	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で「光の道」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。	【思】 強弱、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
		曲の特徴を生かして歌おう	「サウンド・オブ・ミュージック」から「DO-RE-MI」「エーデルワイス」	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】 リズム、速度、旋律、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
		曲の形式を捉えながら鑑賞しよう	「春」第1楽章	【知】 曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。	【思】 音色、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「春」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、独奏ヴァイオリンと弦楽合奏の音色や響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
		言葉の特徴を捉えて旋律をつくろう	「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」	【知】 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。	【思】 リズム、旋律、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。	【態】 音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。
		タンギングや左手の運指を身に付けよう	▶リコーダー 「リズム de ゴー」「しりとりの歌」 「チャイニーズ・ダンス」「喜びの歌」「家路」	【知】 リコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要なタンギングや左手の運指、息の出し方などの技能を身に付けている。	【思】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。	【態】 リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
2学期		曲の形式を生かして歌おう	「夏の思い出」 「赤とんぼ」	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。	【思】 リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
		曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう	「魔王」	【知】 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	【思】 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「魔王」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 曲想と音楽の構造との関わりや独唱の表現の豊かさに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
		言葉の特徴を捉えて音楽を構成しよう	「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」	【知】 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。	【思】 音色、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。	【態】 音素材の特徴を生かして構成を工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。
	2学期	右手の運指や低い音を表現する奏法を身に付けよう	▶リコーダー 「うみ」「アメーzing・グレイス」 「凱旋の行進曲」「ソナタ K.331」	【知】 アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。	【思】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。	【態】 アルト・リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
		曲想の変化を生かして歌おう	「夢の翼」 「あの丘の向こうから」	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】 速度、強弱、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
		箏曲の多様な表現を鑑賞しよう	箏曲「六段の調」	【知】 曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。	【思】 音色、速度、旋律、形式を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「六段の調」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 曲想と音楽の構造との関わりや箏曲の特徴とその背景となる我が国の文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
		箏の基本的な奏法を身に付けよう	▶箏 「練習曲1、2」 「さくらさくら」	【知】 箏の音色と奏法との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付けている。	【思】 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。	【態】 箏の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
		尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう	尺八曲「鹿の遠音」	【知】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。	【思】 音色、旋律、速度、テクスチャ、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の固有性について自分なりに考え、「鹿の遠音」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 音楽の特徴とその背景となる我が国の文化や歴史、尺八について関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
		パートの役割を生かして合わせて歌おう	「明日を信じて」 「飛び立とう君の空へ」	【知】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】 旋律、強弱、テクスチャ、構成を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	【態】 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
3学期		郷土のさまざまな民謡を味わいながら鑑賞しよう	「郷土のさまざまな民謡」	【知】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	【思】 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴いている。	【態】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
		民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう	「ソーラン節」 「かりぼし切り歌」	【知】 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。	【思】 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	【態】 民謡が生まれた背景や、声の音色、節回し、コブシ、囃子詞などの特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
		篠笛の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	▶篠笛 「たこたこあがれ」「ひらいたひらいた」 「さくらさくら」	【知】 篠笛の音色と奏法との関わりについて理解している。 【技】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要なかまえ方や音の出し方、運指などの技能を身に付けている。	【思】 音色、旋律を知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫している。	【態】 篠笛の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
		わが国やアジア地域の、多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう	「日本とアジアの声によるさまざまな表現」	【知】 音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	【思】 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの動きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】 音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。